

## 陳 情 文 書 表

受付番号	第13号
受付年月日	令和7年11月10日
件名	フラワータウン市民センター移転の財政支出撤回を求める陳情書
陳情者	兵庫県三田市 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 三田を愛する市民の会代表 吉田 光之
要旨	<p>&lt;陳情の趣旨&gt;</p> <p>私たちは三田市民として、この街が住みやすく、より良い街になることを願っています。</p> <p>ところが今、市が進めるフラワータウン市民センター移転問題で、地域住民・議会と行政が対立する構図が続いている。これは当初、現市民センターの大改修（予算措置済み）の予定を、田村市長が突然、フローラ88の跡地に作るイオンリテール新商業施設に移転をすると発表した事が、現在の市政混乱の発端だ。</p> <p>地域住民や議会に対して十分な情報公開もなく、一方的に「フラワータウン再生（活性化）」の最後のチャンス!?!などと田村市長をはじめ、市幹部も同様に煽る一方で、その根拠となる詳細情報は9月議会までは出していない。ようやく提出されたが、疑わしい30年後の財政効果3.1億円や床面積は現状より半分に減少など、問題が多々ある中身。しかも所有権はなく、賃貸で30年にわたって支払うもので、テナント料などが毎年約6,000万円と建設資金の初期投資10億円の財政負担が当初より生じる。</p> <p>折しも三田市は向こう10年間で93億円の収支不足を抱える。財政ロードマップを作成し、市民に負担を求めると言うが、これでは筋が通らない。現市民センターは改修すればまだまだ十分使えるし、しかも三田市の資産だ。</p> <p>最後に最も大切な事を言い添える。田村市長は、9月議会で移転議案が否決されたことに、イオンリテールの撤退もあると発言。意気込んで10月臨時議会で再提案すると言いながら見送り。急遽実施の住民説明会（移転反対が多数）と移転誘導のアンケートで、「イオンリテールの出店計画見直しで生活に影響」の質問で、「最大の関心は新商業施設の早期開業」の回答が6割あったことで、移転で再検討すると言い出した。議会否決の重みを軽んじ、二元代表制の民主主義さえ理解しない田村市長。これは三田市政の危機と断言したい！</p> <p>因みにイオンリテールは市民センター移転の有無にかかわらず出店する。昨年夏の時点で土地貸借契約は終了している。ここでも事実を捻じ曲げている、悪質と断言したい！</p> <p>&lt;陳情事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.市民に財政負担となる市民センター移転の補正予算提案を完全に撤回すること。</li> <li>2.市政を私物化し、自身の移転政策に固執し市政混乱をもたらした田村市長は、市民と議会にイオンリテールとの交渉の経緯説明と謝罪をするこ</li> </ol>

	<p>と。</p> <p>3. 今回の混乱は行政組織全体のガバナンス欠如が原因。早急に市政正常化のための取組を組織全体で行い、その経過を市民、議会に報告すること。</p> <p>4. 市議会においてはこれら重要な問題を十分審議し、その結果を市民に知らせること。</p>
付託委員会	生活地域常任委員会